



作：脇田浩二（山口大学アカデミックセンター）
発行：Mine秋吉台ジオパーク推進協議会
〈お問い合わせ先〉
Mine秋吉台ジオパーク推進協議会
〒754-0511 山口県美祿市秋芳町秋吉11237-862
TEL:0837-63-0055 FAX:0837-63-0089
E-mail: mine-geo@city.mine.lg.jp



ミネコロ兄弟

しろ・くろ・あかの
だいぼうけん

ミネコロ兄弟

しろ・くろ・あかの
だいぼうけん



こねこがさんびき いました

まっしろな「しろ」 まっくろな「くろ」 まっかな「あか」の さんきょうだい です。



しろは あきよしだいの しろい おかのうえが だいすき です

しろいいし が いっぱいで きもちがいいなあ きもちがいいから うんち でちゃった

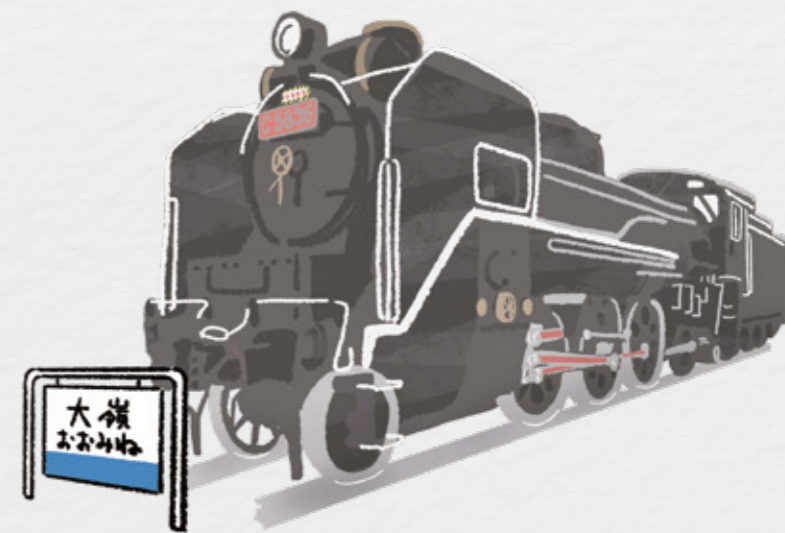


くろは おおみねのまちを はしりまわります



くろいいしが
いっぱいだあ..
おもしろいなあ...

おもしろいから
うち でちゃった



あかは みとうの ながのぼりで おさんぽ です

あかいいし が たくさん あって
きれい だなあ

きれい だから
うんち
でちゃった...



あきよしだいの いしは とんが っついて すわると いたいよう

おおきくて しろいいしの おじさんが はなしかけてきました

とんがった しろいいしは とおいうみで できた

せっかいがん じゃよ



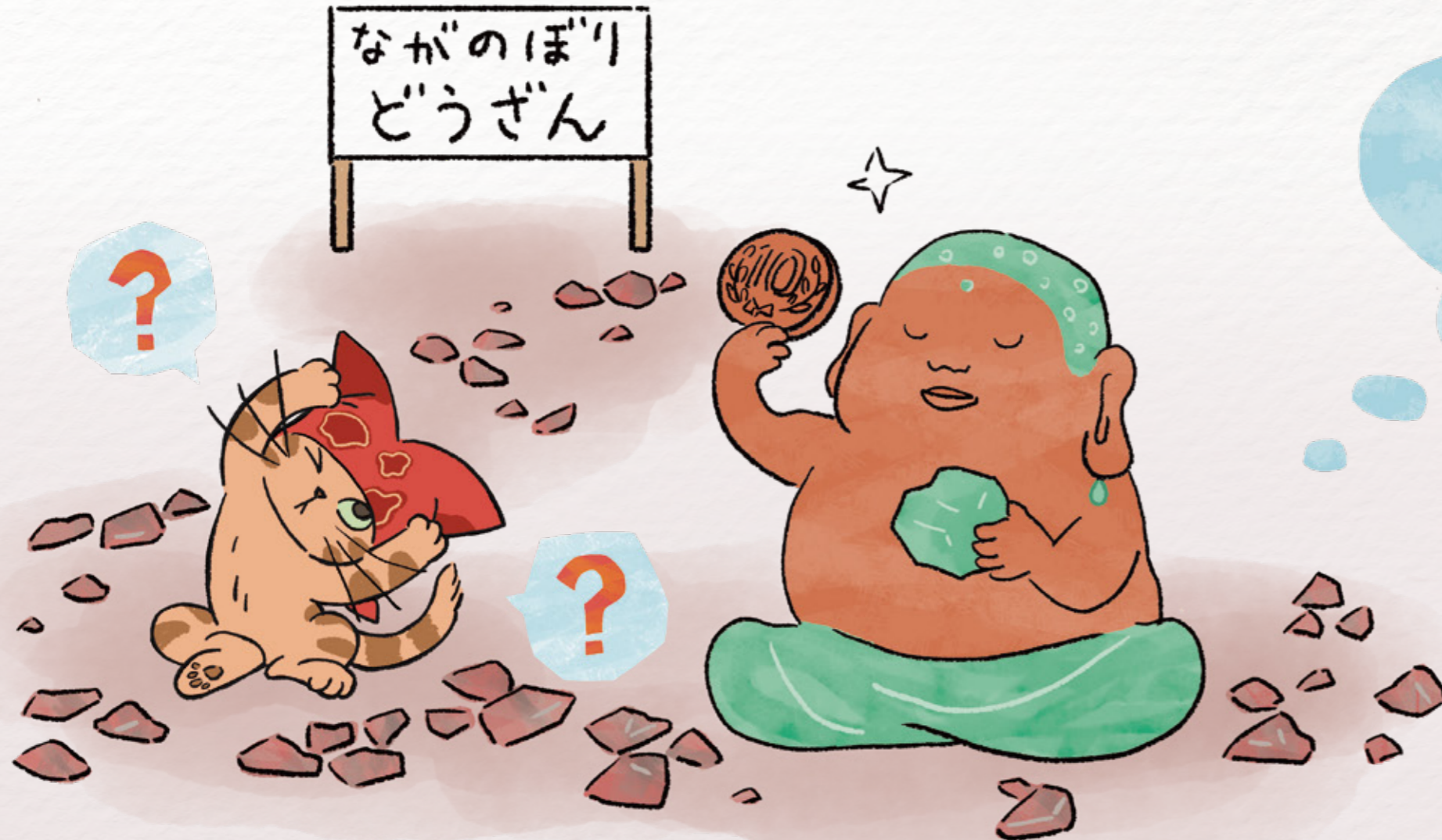
うわあ..あるいていたら て が まっくろに なっちゃった

こんどは くらいいの おじさんが はなしかけて きました

それは せきたん じゃよ
むかしの きや くさが
かせきに なって
まっくろな すみに
なったんじゃ



かんばんに どうざんって かいてあるわ なにかな？



つぶつぶあたまの へんなおじさんが
はなしかけて きました
あかいいしは むかし ここで
どうを とった しょうこじゃよ
じゅうえんだまも ならの だいぶつも
どうで できているんじゃよ

おかあさん「みんな おかえり！」

さんびき「おかあさん ただいま」

おかあさん「そう？ でも そのおじさんたちから
うんちが おちていたって おこられたわ
おそとで うんち しないでね」

さんびき「きょうは
しろいいしや
くろいいしや
あかいいしの
おじさんたちに
おもしろい おはなし きいたよ」





みねには しろい いしくろいいし
あかいいし いろんな たからものがあるんだね

これからは
いしだけ じゃなくて
やま や かわ
くさ や き
みねの しぜんを
ぜーんぶ たいせつにするよ

そうよ ここには しぜんの
たからものが いっぱいな
のよでも おかあさんにと
ってあなたが
いちばん だいじな
たからものよ!



おかあさん ありがとう
わたしたちも しぜんの たからものを たいせつにするね
そして もう うんちは しないから だいじょうぶ!
でも おしっこ だけなら いいかな?

あとがき

3匹の子猫ちゃんの物語はいかがでしたか？

美祢には、歴史や文化や農作物など、誇れるものがたくさんありますが、地下に眠る宝物も、世界にたった一つのとても貴重なものなのです。秋吉台の石灰岩、大嶺の石炭、長登の銅、この3つは、美祢の土台を形づくっているばかりではなく、奈良時代あるいはそれ以前から、地元の経済を支えてきました。

石灰岩は、広くて暖かい海で美しいサンゴ礁をつくっていた化石が固まってできた白い岩石です。白い子猫は、その守り神。大嶺の石炭は、黒いダイヤ。煙がでない質の良い石炭だったため、戦時中は大変重宝されていました。黒い子猫は、石炭を思いださせてくれる代表選手。長登の銅は、奈良時代にできた大仏さまの材料になったことで有名です。千数百年前から、美祢には銅があることが知られていたのですね。赤い子猫は、昔から美祢をそして日本を支えてきた銅（あかがね）の象徴です。

美祢には、貴重な岩石や鉱物や化石がたくさんあります。それらを教育や観光などを通じて、地域を活性化するために、Mine 秋吉台ジオパークとして活動しています。地域の宝物である 白（石灰岩）・黒（石炭）・赤（銅）を大切に守り活用していただくとともに、Mine 秋吉台ジオパークと一緒に盛り上げていきましょう。

よろしくお願い申し上げます。



